

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
栗東市	美之郷地区	R3.3.24	H31.3

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	17.7	ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	17.7	ha
③地区内における50才以上の農業者の耕作面積の合計	17.7	ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	1.4	ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0	ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.9	ha
(備考)		

2 対象地区の課題

<p>1.すでに中心経営体(農事組合法人美之郷営農組合)が有るが運営スタッフの高齢化が進むため、新しい人材の確保</p> <p>2.農事組合法人として、効率の良い水田利用による稲作において安定した経営活動を行うこと</p>

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>農地利用のほとんどが水田利用で中心経営体である農事組合法人美之郷営農組合が継続して担って対応していく</p>

(参考) 中心経営体

属性	農業者 (氏名・名称)	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
認農法	(農)A営農組合	水稲	7.9 ha	水稲	8.8 ha	
計	1人		7.9 ha		8.8 ha	

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

<p>農地中間管理機構の活用方針 将来の経営農地の集約化を継続推進し、農地所有者は出し手・受け手に関わらず原則として農地を農地中間管理機構に貸し付けていき、機構を通じて中心経営体への貸付を進めていく</p>
<p>獣被害防止対策の取組方針 地域による獣害対策として侵入防止柵の点検・補修・維持管理の実施や檻の設置状況、目撃・被害発生状況等の情報交換し、侵入防止体制又は捕獲体制の強化を継続的に取り組む</p>
<p>中心経営体運営人材の取組方針 毎年高齢化が進む運営スタッフの後継者として新規スタッフの増員と教育に取り組む</p>

(参考) 農地の貸付け等の意向(任意記載事項)

	農地の所在(地番)	貸付け等の区分(m ²)		
		貸付け	作業委託	売渡
1	荒張庄田2120		1360	
2	荒張庄田2121		1420	
3	荒張追いかまで		1790	
4	荒張下田2228		2320	
	計		6890	